

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	わかば四日市はぎ		
○保護者評価実施期間	年 月 日		年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間が子どもたちにわかりやすく構造化されているところ	・空間自体は広い為、ラティスを使い、場所を区切っています。 ・物の場所を分かりやすくするためにみえる位置に配置することや、名前と写真を付けるなどをして分かりやすくなる工夫をしています。	・使った後の片づけが乱雑になってしまうため、物の片づける場所もわかりやすく写真などを付けます。
2	保護者の意図や本人のニーズに合わせた個別支援計画の作成と支援の方向性を合わせる事が出来ている。	・送迎時や保護者と会った際に情報共有を行うとともに学校や関係機関と話を行うことでより良い支援を行えるようにしています。	・子どもたち自身の強みにフォーカスを置き、出来る事を伸ばしていきたいです。
3	契約書や重要事項の説明書の説明が丁寧にできている。	・保護者様の疑問点や不安点を聞きつつ一つ一つ回答しています。 ・変更点があった時はわかりやすく伝えられるように簡潔に話すことを心がけています。	・保護者様が疑問を抱いたときにすぐに対応できる体制をとっています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員配置の数が適切でない時がある。	・子どもの人数に合わせて最低限の職員配置を行っているが、障害の程度によっては基準より職員数が必要な場合があります。	・必要に応じて、他事業所からヘルプに来ていただいています。 ・集団行動を行うことで安心安全に過ごしていただけるように工夫しています。
2	災害時の対応やマニュアルについて周知されていない。	・重要事項説明書の説明時や事業所の壁に貼っていますが、日頃から確認する機会が少ないです。 ・再度お伝えしていくことでご理解いただけます。	・避難訓練などを行った際は保護者様にも再度伝えることで理解を深めています。
3	避難訓練などが行われていないのではないかと。	避難訓練は年2回行っていますが、利用者に偏りがある為、行っていることが保護者様に周知できていない。	・避難訓練を行った際は、ブログなどで行ったことを周知していきます。 ・災害時に対処できる物品についても説明を行います。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	わかば四日市はぎ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間が子どもたちにわかりやすく構造化されているところ	・空間自体は広い為、ラティスを使い、場所を区切っています。 ・物の場所を分かりやすくするためにみえる位置に配置することや、名前と写真を付けるなどをして分かりやすくなる工夫をしています。	・使った後の片づけが乱雑になってしまうため、物の片づける場所もわかりやすく写真などをつけます。
2	保護者の意図や本人のニーズに合わせた個別支援計画の作成と支援の方向性を合わせる事が出来ている。	・送迎時や保護者と会った際に情報共有を行うとともに学校や関係機関と話を行うことでより良い支援を行えるようにしています。	・子どもたち自身の強みにフォーカスを置き、出来る事を伸ばしていきたいです。
3	契約書や重要事項の説明書の説明が丁寧にてできている。	・保護者様の疑問点や不安点を聞きつつ一つ一つ回答しています。 ・変更点があった時はわかりやすく伝えられるように簡潔に話すことを心がけています。	・保護者様が疑問を抱いたときにすぐに対応できる体制をとっています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員配置の数が適切でない時がある。	・子どもの人数に合わせて最低限の職員配置を行っているが、障害の程度によっては基準より職員数が必要な場合があります。	・必要に応じて、他事業所からヘルプに来ていただいています。 ・集団行動を行うことで安心安全に過ごしていただけるように工夫しています。
2	災害時の対応やマニュアルについて周知されていない。	・重要事項説明書の説明時や事業所の壁に貼っていますが、日頃から確認する機会が少ないです。 ・再度お伝えしていくことでご理解いただけます。	・避難訓練などを行った際は保護者様にも再度伝えることで理解を深めています。
3	避難訓練などが行われていないのではないかと。	避難訓練は年2回行っていますが、利用者に偏りがある為、行っていることが保護者様に周知できていない。	・避難訓練を行った際は、ブログなどで行ったことを周知していきます。 ・災害時に対処できる物品についても説明を行います。